

# 井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日  
 発行・平成24年10月10日・第12号通信  
 責任者・小林孝夫(井の口まちづくり会会長)  
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760  
 事務局長・河崎良史 E-mail・malo@he.mirai.ne.jp  
 通信編集・作成 馬場わかよ(事務局)

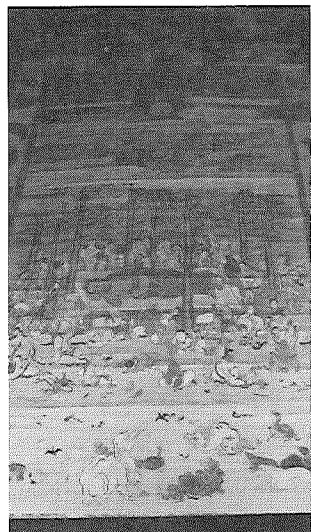
## 井の口のお宝展にご協力ありがとうございました

### 5周年記念イベントは大盛況！ お宝の再発見と更なる誇りを実感！

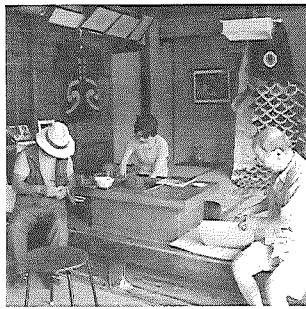
井の口まちづくり会 会長 小林 孝夫  
 8月25・26日の2日間で開催された「井の口のお宝展」は地域の皆さまのご協力を得て盛大のうちに終了することができました。ありがとうございました。

両日は、黄色のお宝展マップを片手に数百人の方々が井の口エリアを散策されました。残暑厳しい中ではありましたが、井の口の魅力と展示された作品に堪能された様子も伺え、この企画及び内容に内外から高い評価を得ることができました。我々スタッフもこのま

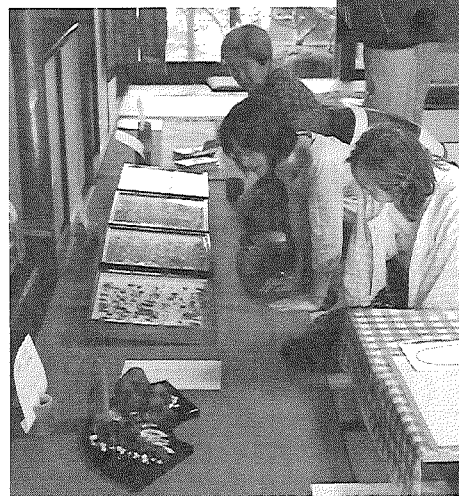
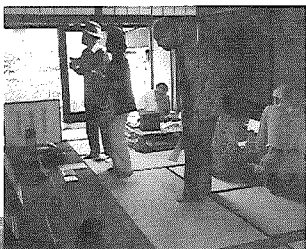
ちのお宝の再発見と誇りの再確認をさせていただきましたが、作品及び会場を提供された方々のお気持ちこそ、井の口のお宝であったと痛感しています。今後とも本会は楽しさを感じるまちづくりに向けて元気に活動してまいります。地域の皆さまのさらなるご理解とご協力を切にお願い申し上げます。



大仏殿は大涅槃図を公開



のぼり鯉遺作展(小原屋商店)



「私のお宝展」の会場風景(河村邸)



妙照寺は秘蔵軸と杉山家所蔵の書簡展



写真展の会場風景(ギャラリーなうふ現代)

### 井の口のお宝展に参加して

松ヶ枝町で育ち、83才になります。この井の口の里は自然に恵まれています。ライフワークとして昆虫と植物の関わりについて研究、資料集めをしています。今回、絶滅危惧のギフチョウなど319個体を展示させていただきました。

松ヶ枝町 齋藤 博

妙照寺の芭蕉の間で行われた特別展で、今までの目に触れたことのない書画・骨董品を展示して多くの方に見ていただきました。大変好評で、来年もやってほしいという言葉もいただきました。良い企画に参加できてよかったです。

本町1 杉山 秀子

退職後に盆石教室に通い始めました。父が使っていた道具があったからです。今回の出展で同じ会場に出品された坂井正治氏の水石に出会い

近所に水石盆石の専門店があることを知り、この地区の文化的豊かさをうれしく感じました。八十路に入り永年撮り続けた写真を整理してましたら、こんな記録帳が生まれました。「懐かしいふるさとの思い出」として皆さまに見ていただこうと、今回のお宝展を良い機会に展示させていただきます。今後も、最愛のカメラと共に撮り続けていきたいと思っています。

大宮町1 吉田 尚弘

暑い日でしたが大勢の皆さまが拝観してくださりありがとうございました。仕事柄、円空とのお出合いが重なり、その微笑みに魅せられて集めることになりました。円空の造詣活動は寛文三年より全国を巡りその数12万を超えるといわれ、現在5千5百体が確認されています。

円空美術館 館長 松永 義和

「私のお宝展」の会場風景(河村邸)

## ぎふ大仏フェスティバル

### 子ども達にゲームを提供！

今年も雨のため1日だけと、た缶の高さを競うもの。1グなった大仏フェスティバル。ループ10人の子も達は協力中止になった1日分を取り戻しながら缶を積み上げていきます。そうとうことなか、境内た。高く積んでもバランスが狭く感じられるほど多くの崩れてガラガラと倒れてしま人達で賑わいました。子どもうと、悔しそうに大声をあげを対象としたゲームを井の口るなど、賑やかでした。空きまちづくり会が準備、今年は缶出しに協力してくれたビー「缶積み競争」です。内容はルの好きそうな大人達が、笑集めた空き缶300個を5つ顔で子ども達の様子を見つめグループに分け、積み上げていきました。(高橋かずえ)



「缶積み競争」で缶を積み上げる子ども達

## 7月5日(木)~8日(日) まちなか七夕アートを開催

### 七夕コンサートに集う

「まちなか七夕アート」を昨年に続き7月5日から4日間開催しました。まちなかアート部会のメンバーが、5日は朝から竹笹を切り出し、夕方5時から井の口地区の軒先きに飾っていただけの希望者に七夕飾りセットと共に配布し、河村邸前には2本の大笹に七夕の飾り付けをしました。7日夜は河村邸にて恒例の七夕コンサートを開催。若きシンガーソングライター近藤香理・佐藤梓さんお二人による歌と演奏です。最後には参加者全員で「七夕さま」を合唱し約1時間のコンサートに酔いしれました。今回もコンサート会場として快く提供いただいた河村夫妻に感謝し、厚くお礼申し上げます。(伊藤逸夫)



若いお二人の歌声が屋敷内に響きました

## 9月12日・13日 清流国体炬火イベントに参加

9月12日、JR岐阜駅北口信長広場をスタートし円徳寺・市役所・県総合庁舎・岐阜小学校へと入り、小学児童が校庭内で炬火リレーを催した後、市民がリレーしながら千数百人が待つゴールの鶴飼遊船事務所前へ。井の口まちづくり会として事前に木挽太鼓へのお願いをし、当日は会員10人が法被姿でのぼりを立てて参加しました。翌13日正午からは川原町まちづくり会が遊船事務所前から炬火をスタートし、井の口まちづくり会が小林会長ほか9人のメンバーで歴史博物館西にて受け継ぎ、次に引き継ぐ伊奈波界隈まちづくり会へと本町1丁目までリレーしました。まちづくり会として参加でき良い体験となりました。(杉山周三)



炬火を手にして走る井の口まちづくり会役員の皆さん



# 井の口まちづくり会・部会主催イベントのご案内

## まちの風景検討部会 日帰りバス視察研修 奈良井宿・木曾平沢 11月18日(日)

参加費2,000円 定員45名(まちづくり会員限定)  
先着順・受付期間は11月1日まで(定員になり次第締め切り)

早くも4回目となります今回の日帰りバス視察研修は、旧中山道の奈良井宿と木曾平沢に決定しました。

奈良井宿は木曾11宿の中でも北部に位置し、もっとも標高が高く(930m)約1kmにわたって町並みを形成する日本最長の宿場とされ、典型的な出梁造の町家が続いています。隣になる木曾平沢は漆工という伝統工芸の職人町として栄え、漆器の生産を行う塗蔵(ぬりぐら)が地区内に90棟以上現存して町並みをつくり、そのいくつかは今も使われ続けています。

奈良井宿ではツアーガイドスタッフ、木曾平沢では町並み保存会の方から勉強になる楽しいお話が聞ける手配がしてあります。さらに道中は紅葉シーズンがお楽しみいただけます。また、少々遠方であるため帰宅時間を夕刻の7時頃に予定しておりますが、広い町並みでの視察が続きますことから、スケジュール通りに進みますよう皆さまのご協力をお願いいたします。

参加を希望される方は、左下の申込書をお早めに提出してください。

- 申し込み先 大仏町・正法寺大仏殿受付へ(小林孝夫会長宅)
- 参加費用 2,000円(集合場所受付にて当日納金していただきます)
- 集合日時 11月18日(日) 午前7時30分
- 集合場所 岐阜公園・名和昆虫博物館東側
- 帰宅時間 午後7時頃を予定

※お願い・当日と前日のキャンセルは、参加費を徴集させていただきます。

## まちなかアート部会 10月27日~30日 まちなかお月見アート10月28日(日)

10月28日(日)午後4時から書道パフォーマンス  
10月28日(日)午後6時からスタンプラリー開催

今年も十三夜を愛でる「まちなかお月見アート」を開催します。みんなでお月見の風情を楽しみましょう。

### ススキを配付します

10月27日午後1時30分よりふくろう伊藤宅、戦国の大道通り、光芳堂前にてススキを配付します(予約優先伊藤へ)。玄関先に飾っていただける方は受け取りに来てください。



スタンプラリーでの伊藤家の様子

### 大仏殿にて岐阜女子大書道部の学生達が大作品を芸術的に揮毫!

28日午後4時から大仏殿にて岐阜女子大学の学生さん達が袴姿で大筆を用いて書くパフォーマンスを行います。この催しにたくさんの皆さまの観覧をお待ちしています。作品は11月3日まで大仏殿東道路側にて展示いたします。

### スタンプラリー参加者にはぜんざいの振るまいがあります!

28日夜6時から8時には井の口のまちをお月見でめぐるスタンプラリーを開催します。十三夜のこの時期、お月さまと岐阜城が重なる姿は美しく、スタンプ台紙に3つのスタンプを集めて歩きますと、ゴールの伊藤家(ふくろう絵工房)にて手づくりぜんざい(120人分限定)をお楽しみいただけます。

## 道路修景を一緒に考えましょう

現在工事が進められている井の口エリアを縦横に走る都市計画道路岐阜駅高富線が一応の姿を見せてきました。今後は、歩道整備や街路樹工事へと移行していきます。この公共事業はまちの風景を考えるうえでも歴史的継承を願ううえでも、私たちの暮らしに大きく影響するものと思われる。井の口まちづくり会では、これまでも勉強会等でその在り方を考えてきており、道路修景に関する地域の皆さま方のご意見も頂きたいと思っております。

- ご意見の窓口 まちの風景検討部会「道路修景」宛  
E-mail・malo@he.mirai.ne.jp

または、大仏殿正面に設置した下記の大仏様への年賀状投函箱へ入れてください(12月1日~1月10日)。

## 大仏様への年賀状を募集します

まちなかアート部会では、第3回目となる「大仏様への年賀状」を広く皆さまから募集します。今年も手づくりの年賀状を慈悲溢れる大仏様に差し上げて、新しい年の幸せをお願いしようと企画するもので、手づくり、手描き、あるいは印刷やパソコン使用であってもオリジナル年賀状であることが募集の条件です。

大仏様がいただいた年賀状は「年賀状展」を開いてアート作品として皆さまに見ていただきます。

- 郵送先 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ぎふ大仏様
- 大仏殿正面に設置した投函箱へは12月1日~1月10日

## わがまちのルーツ信長公居館跡地は地域の宝 保存、活用方法を皆で考えてみましょう!

### 11月24日(土) 井の口まちづくり会・まちの歴史探索部会 協賛

織田信長公居館跡地の発掘調査は、現在岐阜市教育委員会によって進められています。その調査結果の報告会と大討論会が11月24日に行われます。地元住民として大いに関心を持っていただきたくご案内をいたします。

午前は居館跡地にて、発掘状況について岐阜市教育委員会の担当者から解説を交えた報告会があり、午後からは金華公民館にて、跡地や発掘の成果を今後どのように活用し、残していったらよいかを、地域の住民を含めた皆でテーブルを囲んで意見を述べあう討論会が開催されます。

#### 発掘調査の報告会

斎藤道三公、織田信長公が造った城下町の遺構や居館跡地の発掘調査が進められ、出土品などから当時の様子を解説していただけます。まちの歴史をより深く知ることができ、この地区の成り立ちが分かる歴史の勉強会になります。

- ・時間 午前10時~11時30分
  - ・集合場所 ロープウェイ山麓駅の裏
  - ・定員 制限なし(無料)
  - ・解説 岐阜市教育委員会 担当者
  - ・問合せ先 岐阜市教育委員会 社会教育課 高橋氏(058-265-4141)
- まちの歴史探索部会が協力開催いたします。

#### 金華山麓 夢の公園 大討論会

地域の景観や建物の調査、保存に努める「歴史文化建物等保存会トラスト岐阜」が主催するイベントで、「おんぱく」(温泉泊覧会)の事業でもあり、井の口まちづくり会も協力して開催する催しです。世代を超えた話し合いの場を持つことで、地域の活性化を考えるよい機会になることでしょう。ぜひご参加を。

- ・時間 午後1時30分~4時30分
- ・場所 金華公民館
- ・定員 60名(無料)
- ・申込み先 トラスト岐阜 加藤氏(090-8734-3536)

## バス視察研修参加申込書

|              |     |       |   |
|--------------|-----|-------|---|
| 氏名           |     |       |   |
| 住所           | 〒   | —     |   |
|              | TEL | —     | — |
| 同行者名<br>家族のみ |     |       |   |
| 〇で囲む         | 会員  | 新規会員* |   |

\*新規会員は参加費と会費1口500円をいただきます。

事務局長 河崎良史

井の口まちづくり会設立5周年記念事業の「井の口のお宝展」が盛況に開催されました。参加された方々には、井の口地区が持つ懐の深い歴史文化や井の口の人々のもてなしの心に触れていただけたと確信しております。

改めて今回の記念事業をやり終えてその達成感に感激しました。もちろん地区内のコミュニケーションにも寄与できましたが、事業開催の意義を参加者それぞれが理解され、このまちへの誇りを感じられたと実感できたからです。

ただ一つ、このようなイベントを振り返ると参加者の高齢化が気になります。まちづくり活動には、元気な馬鹿者と若者、マドンナと女性達が必要だとよく言われます。井の口まちづくり会にはなかなか若者が見あたりません。せめて40代、50代の元気な方がまちづくり会の活動に参加できれば、会の運営がより活発になるのは間違いありません。

門戸は絶えず広く開いています。興味のある方はまず手始めにお月見のスタンプラリーに参加されてはいかがでしょうかでしょう。部会活動への加入やまちへの思い、ご意見などをお聞かせください。若い方々の参加を心よりお待ちしております。

事務局だより